

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ふぁんたPlus		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	利用定員に対して適切なスペースが確保できている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	適切な人員配置ができています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	床は柔らかい素材を使用している。	階段に手すりがないため、手すりの取り付けに検討する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	子どもたちが心地よく過ごせるように清掃し、環境づくりができています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要に応じて、子どもたちは個別の部屋を使用することを認めている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	定期的にミーティングを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者向けアンケートを活用し業務改善へと繋げている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	定期的にミーティングを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		現時点では実施に至っていないが、必要に応じて今後の実施を検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	定期的に職員研修を行っている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	支援プログラムを作成し、公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	保護者様にニーズや課題をアセスメントし、またアセスメントシート等を使用し計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	定例会議に議題を出し、必ずスタッフ間で共有している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	定例会議に議題を出し、必ずスタッフ間で共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	子どもの状況や保護者のニーズに合わせて計画を作成している。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	個々に合った5領域の元具体的に放課後等デイサービスガイドラインに沿って、支援内容を作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	定期的にミーティングを行い、立案を行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	時にはご利用児たちと一緒に新たなプログラムを考えたり活動プログラムを工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	子どもの状況や保護者のニーズに合わせて計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	送迎車割表、担当表などを作成し、その日の支援内容等も打合せしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援終了後に振り返りを行い、情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	毎日支援記録を必ず記入し、振り返りに活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	6ヶ月に1回モニタリングを行い、状況に合わせて見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	基本活動を組み合わせ支援を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	子どもが自己選択できるように、宿題の時間など自分で時間を決める等工夫している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	適切な職員が参加している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	相談支援専門員や学校教諭と連携を取っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	定期的に連携を取っており、意見交換を行っている。 研修受講の機会を設けている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	地域のイベントへの参加をする等で、交流の機会があった。	地域との交流や情報共有につながるよう、今後も検討する機会を増やしていきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時にできるだけ詳しく伝えている。 連絡ノート等も活用している。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	電話相談や面談等、状況に応じた家族支援を行っている。	希望に応じて、保護者会の開催等、保護者との交流を図ってきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	適切なスタッフが丁寧な説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	連絡帳や送迎時等で保護者様からのニーズを確認している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	個別支援計画作成後に保護者に説明し、同意を受けている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	兄妹等の悩みにも助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6		保護者同士が交流できる機会が少ないため、今後はニーズを踏まえながら実施方法を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情、相談等があった際は迅速に対応している。記録にも残している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	月1回以上のペースでホームページやSNS等でも定期的に情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	スタッフにも周知徹底を図っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	支援ツールも使い、配慮しながら支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		事業所外との交流や地域との関わりの機会が少ないため、無理のない範囲で情報収集や連携の機会を増やしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種マニュアルを作成している。周知をおこなっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年2回以上の避難訓練、水防訓練等を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	面談時に確認。ならびにサポートブックにも記載していただいている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	面談時に確認。ならびにサポートブックにも記載していただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成している。必要な研修や訓練を定期的に行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	当事業所の安全対策に関しては、契約時等で説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ミーティング・会議時にも使い、再発防止に取り組んでいる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止に関する責任者が研修を実施し、委員会も参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束関する同意書を別途で作成し、サインしていただいている。		